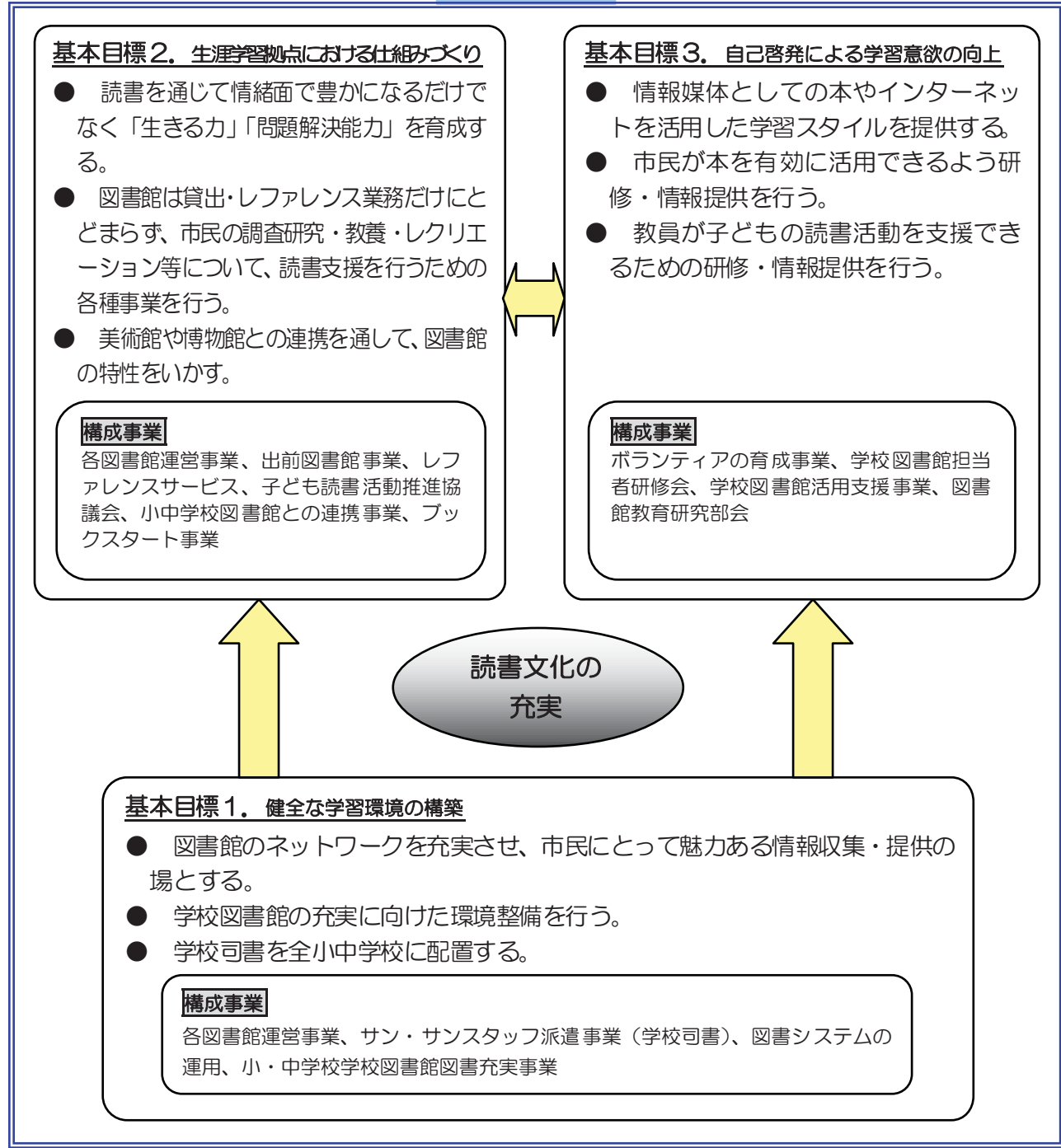


重点項目1 《読書文化の充実》

重点とするねらい

- ・ 本を読む喜びを味わい、豊かな人間性をはぐくむ読書環境をつくる。
- ・ 読書を通して多くの学びを得られる学習環境をつくる。



重点項目2 《地域文化の活性化》

重点とするねらい

- ・ 生涯学習施設を活用した地域文化活動の場をつくる。
- ・ 大人と大人、大人と子どもが積極的にかかわりながら、地域社会全体の教育力を向上させる取組みを支援する。

基本目標2. 生涯学習拠点における仕組みづくり

- 文化・芸術に触れる機会を通して、知的向上心を高める取組みを行う。
- 地域の大人が積極的に子どもとかわりを持ち、生活の場、学習・運動の場、遊びの場、体験の場、交流の場等の充実を図る。

構成事業

魅力ある展覧会開催事業、博物館教育特別展示事業、自然観察園整備事業、市民大学交流事業、地域教育カネネットワーク推進事業

基本目標3. 自己啓発による学習意欲の向上

- 学芸員等の専門的知識をもつ者が、市民に対し、美術・歴史・自然等に関心を持てるようにするための取組みを行う。
- ひらつかの郷土理解を深める取組みを行う
- 大人が子どもとよりよくかわるためのスキルを磨く研修等の場を設ける。

構成事業

エコ・ミュージアム推進事業、地域の歴史再発見事業、博物館教育普及事業、博物館常設展示解説事業、ワークショップの開催、展覧会でのギャラリートーク、学校教育の調査・研究・研修事業（教育講演会）

地域文化の
活性化

基本目標1. 健全な学習環境の構築

- 様々な生涯学習施設で地域文化活動を支援する人材の発掘を行う。
- 文化活動のすそ野を広げるため、情報を共有する仕組みづくりを行う。

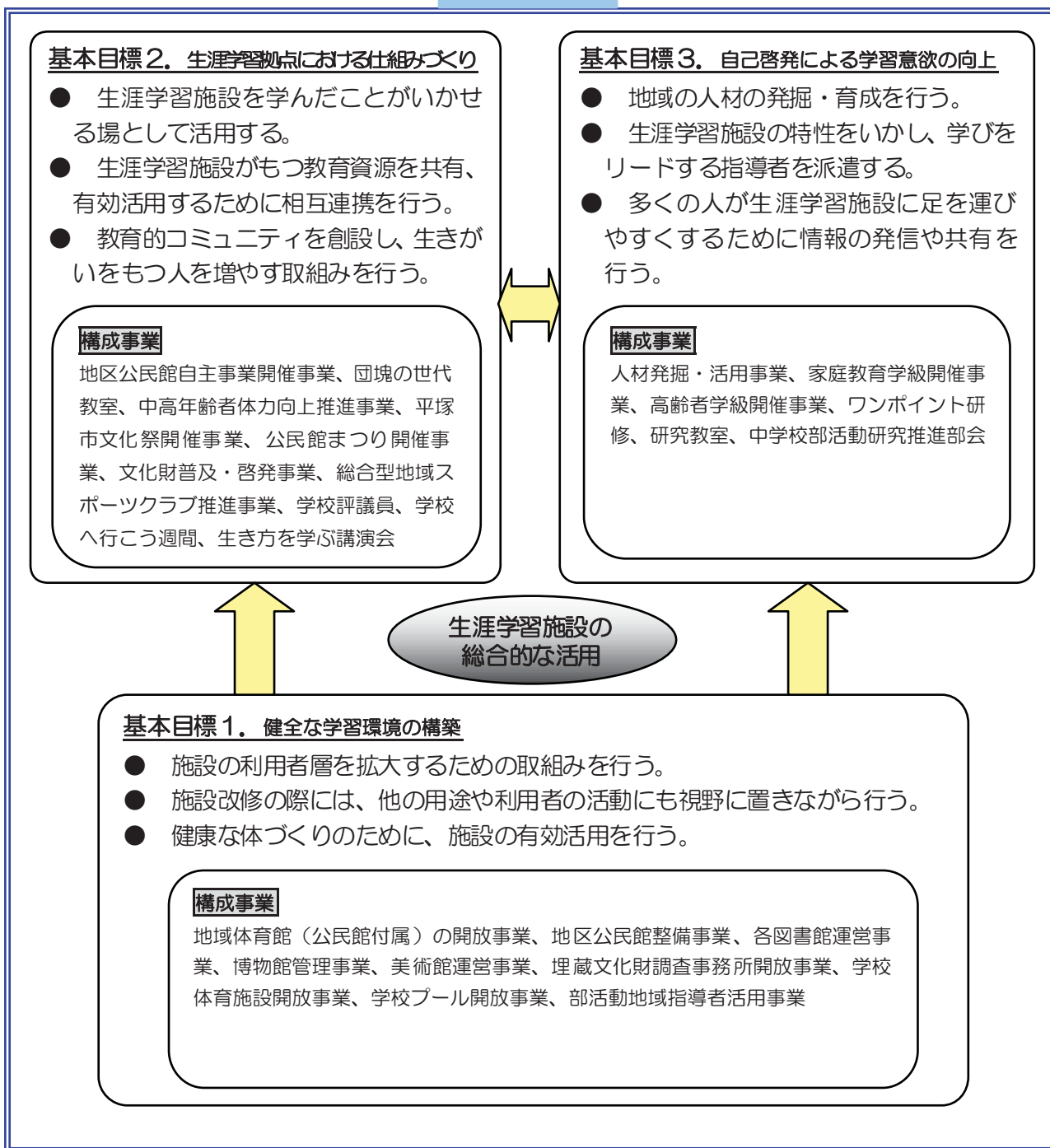
構成事業

人材発掘・活用事業、文化財普及・啓発事業、各図書館運営事業、博物館管理事業、美術館運営事業、学習資料発行事業

重点項目3 《生涯学習施設の総合的な活用》

重点とするねらい

- ・ 身近な生涯学習施設において、学びやすい環境を整える。
- ・ 生涯学習施設やその機能を幅広く活用することにより、学んだ成果を適切にいかす場を設ける。



重点項目4 《子どもへの支援》

重点とするねらい

- 子どもの育ちを中心として、大人と子どものかかわり方について考える機会を設け、支援する。
- 放課後等に安心して過ごせる場をつくる。
- 幼児期からのきめ細やかな一貫した支援体制を確立する。
- 教育相談コーディネーターを中心とした相談支援体制を充実します。

基本目標2. 生涯学習拠点における仕組みづくり

- 社会教育の場を通して、同年齢間、異世代間のつながりを感じられるコミュニケーションづくりを進めていく。
- 家庭、地域、学校、行政が力を合わせていくことで、家庭の教育力の向上を目指す。
- 子どもが安心して過ごせる場を設ける。
- ライスステージたった連続性のある支援教育の取組みを行う。
- 学校内での支援体制の確立を目指す。

構成事業

団塊の世代教室、食に関する指導事業、放課後子ども教室推進事業、就学指導・相談事業、幼児ことばの教室支援事業、相談指導事業、相談支援チーム派遣事業

基本目標3. 自己啓発による学習意欲の向上

- 保護者としての自覚や子どもの育ちに関わる大人たちの連携を学ぶ機会を提供する。
- 子どもの育ちを支えるために、教職員間の情報交換を行う。
- 教員のスキルアップを図るために、研修体制を整備する。

構成事業

市P連、幼・保・小・中連携教育講演会、小・中連携学習研究会、教育相談研修会事業、教育相談コーディネーター研修会、児童生徒指導担当者会

子どもへの
支援

基本目標1. 健全な学習環境の構築

- 親子のあり方、子どもとの接し方などを考え合い、安心して子育てができるよう家庭支援を行う。
- 児童・生徒にとって、身近なところで支援が受けられる体制を整備する。

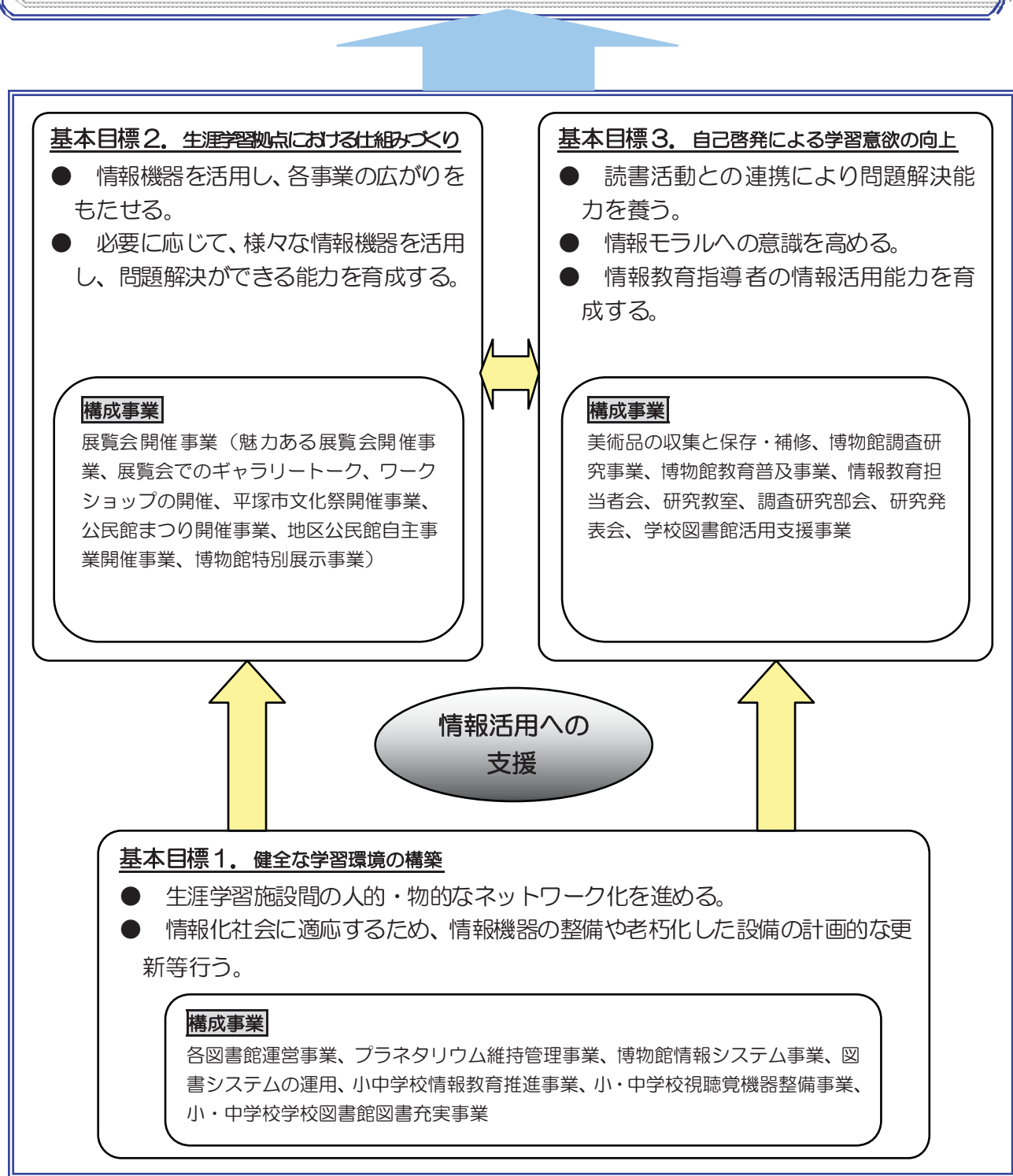
構成事業

家庭教育学級開催事業、地域教育力ネットワーク推進事業、サポートチームシステム支援事業、高等学校奨学金事業、要保護及び準要保護児童生徒援助事業、介助員派遣事業、小・中学校特別支援学級支援事業、スクールカウンセラー派遣事業、通級指導教室整備事業、特別支援教育就学援助事業、サン・サンスタッフ派遣事業

重点項目5 《情報活用への支援》

重点とするねらい

- ・ 情報リテラシー（情報処理能力）を育成する。
- ・ 情報（情報機器も含む）を効率よく活用するための研究を行う。
- ・ 情報（情報機器も含む）を活用することにより、各事業の広がりをもたせる。



重点項目6 《安心して学べる場の提供》

重点とするねらい

- ・ 幼児・児童・生徒が安心して学習活動に取り組めるよう、学校（園）生活の安全確保に努める。
- ・ 家庭、地域、学校、行政が一体となって、安全対策に取り組む。
- ・ 安全な生活について、大人と子どもも意識をして行動できるようにする。

基本目標2. 生涯学習拠点における仕組みづくり

- 家庭、地域、学校、行政が一体となり防犯対策に取り組む。

構成事業

通学路安全対策事業、地域教育カネ트워크推進事業、公用自動車パトロール

基本目標3. 自己啓発による学習意欲の向上

- 安全な生活について、大人と子どもも意識をして行動できるように研修を行う。

構成事業

防犯対策研修会、心肺蘇生法実技講習会

安心して学べる
場の提供

基本目標1. 健全な学習環境の構築

- 安心して学ぶことができるよう、耐震化を進める。
- 安全・安心な給食を提供するため、設備の改修や備品を整備する。

構成事業

各施設改修事業、地区公民館整備事業、教育会館耐震補強工事、中央図書館耐震補強工事、桃浜町庭球場改修工事、博物館耐震補強事業、小中学校体育館耐震補強事業、幼稚園耐震補強工事、中学校体育館整備改築工事、共同調理場耐震補強工事、通級指導教室整備事業、学校保健・環境衛生事業、幼児・児童・生徒健康管理事業、給食の安全・安心推進事業